

第 37 回全国保健師長会代議員総会議事録

平成 27 年 11 月 28 日、全国から代議員 125 名が参集し、熊本県熊本市くまもと県民交流館において、第 37 回全国保健師長会代議員総会が開催されたので概要を報告する。

◆会長挨拶要旨

日頃からの保健師長会活動への協力、豪雨被災地への支援等への謝意。地域医療構想で、在宅医療の役割が増えるなか、在宅医療を推進するために必要な地域づくりは保健師が展開してきた活動であり、計画策定にあたっては、保健師の積極的な参画を期待する。

今後、国民の健康課題を明らかにし、医療福祉施策にも目を向けながら、質の高い公衆衛生活動を展開することが重要であり、そのためにも、本会の参加者のつながりを強化して意見交換に努めたいと抱負を述べられた。

◆来賓祝辞

厚生労働省健康局長代理島田陽子保健指導室長をはじめ、熊本県知事代理山内信吾健康福祉部健康局長、大西一史熊本市長、宇田英典全国保健所長会長、日本看護協会会長代理中板育美常任理事から、地域保健行政にかかる日ごろの保健師活動への評価及び今後の活動に対する期待の言葉をいただいた。

◆基調講演

大分県立看護科学大学 理事長・学長 村嶋幸代氏から、「保健師活動の見える化を目指そう～保健師活動のコアをとおして～」と題して講演をいただいた。

個人のケアを通して地域全体の課題を見出し、個人・地域に働きかけ、健康課題の解決を図ること、また、ケアの継続と公平な資源配分のために施策化し予算化することが、公衆衛生看護を担う保健師の特徴である。

平成 30 年に向けて、保健師、社会福祉士の他、様々な保健医療福祉の専門職が地域で活動していく中、保健師はどのような役割を果たすべきか、また、そのためにどのような能力を持つ必要があるかを考えることが今日の保健師長会の大きなテーマである。

2025 年に向けた地域包括ケアシステムの構築にあたっては、市町村や都道府県が、地域の特性に応じて作り上げていくということが大変重要であり、行政には地域の将来を見越した計画策定が求められる。

保健師の活動が見える化にすることは、保健師自身の生き甲斐ややりがいにつながり、ひいては人員確保や政策立案、予防活動につながる。保健師は、成果とともに、何を意図してどういうことをやったというプロセスも見せる必要があり、見える化するために、何を訴える必要があるのか、そのためにはどのような資料を作るかを考えることが必要である。行政で働く看護職として、自分の仕事が見える化し、看護職の特性と公務員としての利点を生かして、地域の看護水準の向上に尽力してほしいと期待を述べられた。

◆シンポジウム

「保健師活動の見える化～魅せましょう 私たち保健師の活動～」をテーマとして、熊本県立大学大学院 アドミニストレーション研究科教授 荒木紀代子氏を座長に、3人のシンポジストから保健師活動指針に基づいた活動実践が紹介された。大分県東部保健所地域保健課の武野真澄氏はがん患者の個別支援から組織化そして地域へ発展させた実践例を、熊本県御船保健所保健予防課の岡順子氏は、重点事業として取り組む糖尿病対策において地域関係機関をコーディネートした実践例を、福岡県糸島市健康増進部健康づくり課の木村和美氏は地域に根ざした保健師活動を目指して、地域診断・地区担当制を取り組み始めた実践例について報告された。いずれも「地域における保健師の保健活動に関する指針」を踏まえた先進的な実践報告であり、大変参考になるものであった。

◆総会議事

総会は、125名の代議員出席と133名の委任状の提出があり、規定代議員数の2分の1以上で成立した。

議事では、まず第1～第3号議案により、平成26年度事業報告及び収入支出決算報告が行われ承認された。

次に第4～第6号議案により、平成27年度の事業経過報告、収入支出補正予算（案）、平成28年度全国保健師長会活動方針（案）、平成28年度事業計画（案）の提案があり、それぞれ承認された。

平成28年度の活動のテーマとして「社会の課題に向き合う公衆衛生看護活動の展開～保健・医療・福祉をつなぎ安心して健やかに暮らせるまちづくりの実現～」を掲げ、1. 専門性の高い公衆衛生看護活動の強化 2. ブロック、支部活動の強化 3. 中長期的な展望に立った被災地における保健師活動の可視化及び自治体における災害時対策の取り組みの促進 4. 会員数の拡大の4点を活動方針とした。

続いて、第7号議案の平成28年度事業計画（案）及び第8号議案の平成28年度収入支出予算（案）では、会員数の100名増をめざした事業計画案や予算案が提案され承認された。続いて、第9号議案では、全国保健師長会40周年記念事業特別委員会の設置について会長からの説明があり、承認された。

次に、平成28年度役員・推薦委員の選任が行われた。まず、平成28年度全国保健師長会役員の変更が行われ、会長に青柳玲子氏（現副会長）、副会長に山野井尚美氏（現常任理事）同じく副会長に谷戸典子氏（現監事）、副会長に宮原恵子氏、監事に鈴木しげみ氏の他、3名の推薦委員候補者が選出され、選挙の結果、125票を得て選任された。

引き続き、平成28年度の各ブロック・部会・委員会からの事業経過報告があり、最後に会長による常任理事の氏名、新旧役員を紹介、役員を代表して新旧会長の挨拶を経て、すべての議事が終了した。

最後に、次期開催県である奈良県の近藤桂子副支部長の挨拶があり、総会は無事終了した。

議事録署名人

堀之内 瓜子



山崎 初美

